

(専門分野)

授業科目	地域・在宅看護論 I (暮らしを支える看護)	講師	教員	実務経験	単位数
				○	2
学習目標	1.個人・家族を支える環境としての地域を理解する。 2.個人・家族の暮らしを理解する。 3.自らの健康を維持できるよう継続的に暮らしを支える看護を理解する。			時間数	第2学期
				30	
				学年	
				1	
				時期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	地域で生活する人々の理解	1.個人の生活構造と地域特性 1)暮らすということ 2)地域特性 2.健康の支援活動 1)ヘルスプロモーション 2)プライマリヘルスケア		講義	教員
2~5		1.個人の生活構造と地域特性の実際 2.健康の支援活動の実際		演習	教員
6	地域の生活環境が健康に与える影響	1. 人々の生活圏・生活環境 1)文化的環境 2)社会的環境 3)自然環境		講義	教員
7	家族の役割	1.家族のとらえ方 1)家族理解のための基礎理論 2.家族の機能と役割		講義 演習	教員
8	地域・在宅看護論の対象	1.個人・家族、集団、組織、地域 2.健康状態(健康の良い状態~終末期まで) 3.発達段階(胎児期~老年期まで)		講義	教員
9	健康と暮らしを支える看護	1.地域包括ケアシステムにおける看護の役割 1)地域包括ケアシステムの背景・機能 2)地域包括ケアシステムにおける看護の役割 2.自助、互助、共助、公助の意義と役割		講義	教員
10		1.家族を支える看護 1)家族の健康 2)家族を支援する目的 2.多職種連携、協働の意義と方法		講義 演習	教員
11 12	看護が提供される多様な場の理解 地域・在宅看護論に関連する法制度と施策	1.看護が提供される多様な場とその法的根拠 2.医療保険、介護保険制度と施策 3.訪問看護における法と制度 4.権利保障に関する法や施策 5.各保健、障がい者等に関する法と施策		講義 演習	教員
13	地域で暮らし続けることを支援するためのマネジメント	1.自己決定支援(ACP含む) 2.ケアマネジメント 1)ケアマネジメントの定義と目的 3.保健行動と行動変容		講義	教員
14		1.インフォーマルネットワークの維持 1)地域とのつながりを維持する意味 2)インフォーマルネットワークの実際		講義 演習	教員
15	評価	単位認定試験 (45分) まとめ			
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 地域・在宅看護論[1]地域・在宅看護の基礎 国民衛生の動向		